

研究実施のお知らせとご協力のお願い

現在、介護老人保健施設リハパーク舞岡には、令和 8 年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）「高齢者の自立支援・重度化防止に資する栄養ケア・マネジメントの推進に向けた低栄養状態の把握手法のための研究」—介護保険施設入所者個別調査（後ろ向き追跡調査）—にご協力頂いております。

本調査は、2024 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に介護老人保健施設リハパーク舞岡に新規入所した入所者一人一人の栄養管理等に関する情報を把握し、次期介護報酬改定に向けて更なる効果的な栄養・食事支援につなげることを目的に実施しております。具体的な調査項目は下記をご参照ください。

研究に用いるデータは、氏名等を含まない研究用 ID に置き換えて管理します。対応表は施設内で厳重に保管し、研究者が受け取ることはありません。結果は統計的にまとめて公表するため、個人が特定されることはありません。研究への参加を望まれない場合でも、不利益はありません。参加を望まれない場合は、施設長または事務長へお申し出ください。

以上について、ご協力頂きますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

研究代表者 高田健人（日本健康・栄養システム学会 理事）

介護老人保健施設リハパーク舞岡 施設長 飯田秀夫

調査項目（入所期間中の既存帳票からの転記）

低栄養状態のリスクレベル、【低栄養状態のリスク状況】身長、体重、BMI、3%以上の体重減少（1、3、6 か月）、褥瘡、栄養補給法、血清アルブミン値、【食生活状況等】栄養補給の状況〔食事摂取量（割合）、主食の摂取量（割合）、主菜・副菜の摂取量（割合）、その他（補助食品など）〕、摂取栄養量〔エネルギー、たんぱく質（現体重当たり）〕、提供栄養量〔エネルギー、たんぱく質（現体重当たり）〕、必要栄養量〔エネルギー、たんぱく質（現体重当たり）〕、嚥下調整食の必要性、食事の形態、とろみ、食事の留意事項、本人の意欲、食欲・食事の満足感、食事に対する意識、要介護度、障害高齢者に日常生活自立度、認知症高齢者の日常生活自立度、【総論】診断名（ICD-10）、ADL（Barthel Index）合計点、認知症の診断（アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体症、その他）、入所年月日、入所前の居所（居宅、医療機関、他の介護保険施設）、性別、年齢

入所後 1 年間の体重変化（原則として毎月測定される測定日ごとの実測値）、最長 1 年間の施設内死亡、入院、退所の発生年月日

問い合わせ先： 一般社団法人 日本健康・栄養システム学会 事務局
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 3-1-1 TJ ビル 3 階

TEL 03-5829-8590 FAX 03-5829-6679

研究内容に関する問い合わせ k-takada@jumonji-u.ac.jp

倫理審査に関する相談窓口 jimukyoku@j-ncm.com

※退所後の状況により、個別のご案内が難しい場合があります。その際は、施設内掲示や学会ホームページ等で研究情報を公開し、研究への参加を希望されない場合のお申し出方法をご案内します。